

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(2/11)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区(徳島県)	3.9	4.7	3.4	3.8	<p>・寄附講座の設置・継続や糖尿病連携手帳を活用する医療機関数の増加等、全体として良好な進捗状況と評価する。医師不足対策や糖尿病重症化予防は、実質的な効果を上げるまでに時間がかかると思われるが、将来に向けての体制強化が着実になされている。</p> <p>・評価指標(2)糖尿病対策の推進の数値目標については、現段階では、管理栄養士による栄養指導導入医療機関数(代替指標)ではなく、糖尿病対策の推進に係るアウトカム指標を設定するのが妥当と思われる。</p> <p>・糖尿病克服モデルの構築に関しては、構想と実施計画を見直し、明確にする必要があるとともに、地域医療の再生との有機的な関連付けが望まれる。</p> <p>・一見健常と思われる、または健常と考えている県民を対象にした糖尿病発症の予防事業や、それを評価するための指標が必要である。</p>
		<p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師不足対策の推進 110% ・糖尿病対策の推進 119% ・外国人宿泊者数 138% 	<p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い等 ・<u>財政支援等</u> ・寄附講座設置事業 ・医師修学資金貸与事業等 ・<u>地域独自の取組</u> ・とくしま経済飛躍ファンドによる研究開発支援等 		